

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査の調査結果の活用による指導改善に向けた説明会

中学校の部

令和元年10月24日（木）
県立教育研究所

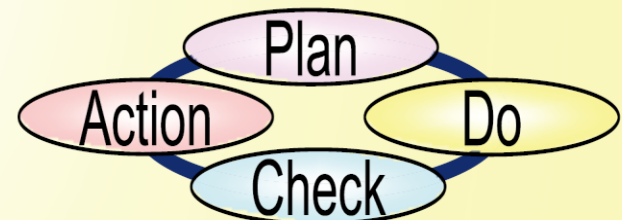
本日の内容

1. 全国学力・学習状況調査の目的について
2. 奈良県の調査結果とその特徴について
 - (1) 教科に関する調査結果
 - (2) 教科に関する調査の内容
 - (3) 質問紙に関する調査結果
3. レーダーチャートについて
4. 先生方をお願いしたいこと

1. 全国学力・学習状況調査の目的について

調査の目的

- 国としては、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善・充実に生かす
- 教育委員会としては、自治体や学校の学力水準を検証し、教育委員会の施策の改善・充実に生かす
- 学校としては、個々の児童生徒の学習状況を把握し指導に生かすとともに、学校全体として指導方法の検証・改善につなげる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する



2. 奈良県の調査結果とその特徴について

(1) 教科に関する調査結果

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果（教科）

	平成31年度（令和元年度）						
	国語		算数・数学		英語（※）		英語「話すこと」 全国（参考値）
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	
小学校	8.9/14 63.8	8.4/14 60	9.3/14 66.6	9.2/14 66			
中学校	7.3/10 72.8	7.2/10 72	9.6/16 59.8	9.5/16 59	11.8/21 56.0	11.7/21 56	1.5/5 30.8

※英語調査の結果は、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計。

※平成29年度から、国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

	平成30年度							
	国語 A		国語 B		算数・数学 A		算数・数学 B	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	8.5/12 70.7	8.3/12 69	4.4/8 54.7	4.3/8 53	8.9/14 63.5	8.8/14 63	5.1/10 51.5	5.0/10 50
中学校	24.3/32 76.1	24.2/32 76	5.5/9 61.2	5.4/9 60	23.8/36 66.1	23.8/36 66	6.6/14 46.9	6.5/14 46

○小学校においては、全国平均正答数を国語で0.5ポイント、算数で0.1ポイント下回った。

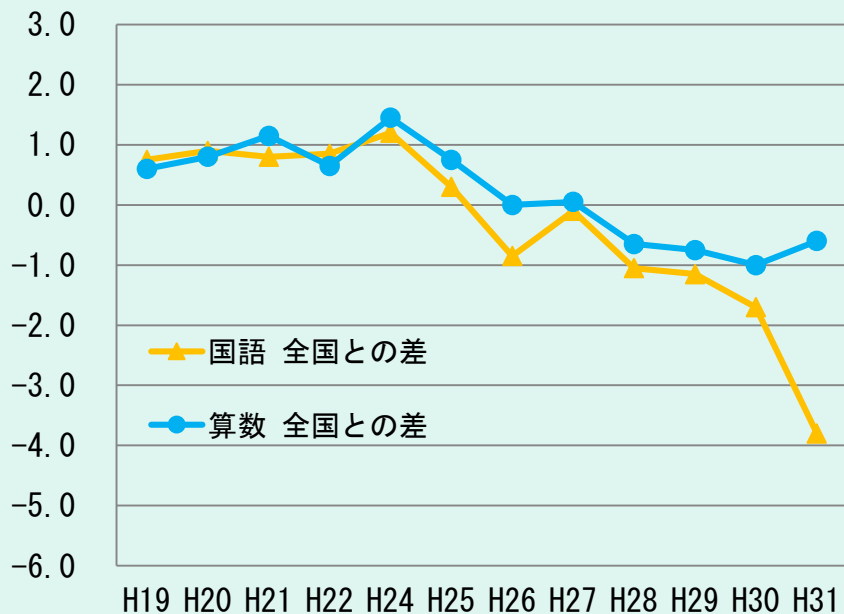
○中学校においては、国語、数学、英語の全ての調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回った。

(1) 教科に関する調査結果

国語及び算数・数学の平均正答率の全国平均との差

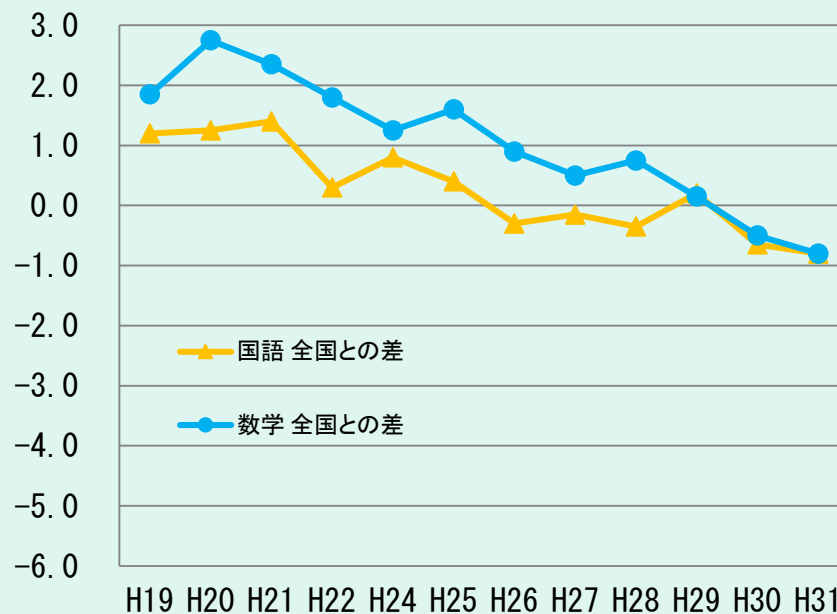
小学校

全国平均正答率との差



中学校

全国平均正答率との差



奈良県の児童生徒の学力は、相対的に下降傾向にある。

※ 平成29年度以降、各都道府県の平均正答率が整数値で公表されるようになったため、平成29年度以降の数値については±0.5ポイント程度の誤差があります。

(2) 教科に関する調査の内容

6 事象の数学的な解釈と問題解決の方法

(冷蔵庫)

出題の趣旨

設問(2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

- 6 健太さんの家では、冷蔵庫の購入を検討しています。健太さんは、冷蔵庫A、冷蔵庫B、冷蔵庫Cについて調べたことを、次のような表にまとめました。

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

- (2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入して x 年間使用するときの総費用を y 円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

学習指導要領における領域・内容

【第2学年】C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
 イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
 お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
 健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

- ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式
 イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

(正答例)

- (アを選択した場合) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。
 (イを選択した場合) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、使用年数と総費用の関係を一次関数のグラフに表して、その交点の座標を読み取り、使用年数の値を求める。

(2) 教科に関する調査の内容

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入して x 年間使用するときの総費用を y 円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

全国

正答率 34.7%
無回答率 11.6%

奈良県

正答率 32.3%
無回答率 14.7%

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

学習指導に当たって

○様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるように指導することが大切。

○グラフを用いれば総費用が等しくなるおよその使用年数が一目でわかることや、式を用いれば正確な値を求めることができるなど、グラフや式を使って問題解決するためのそれぞれの方法のよさを実感できるようにすることが大切。

(2) 教科に関する調査の内容

4 聞いた内容に適切に応じる 出題の趣旨

聞いて把握した内容について、適切に応じることができるかどうかをみる。

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

スクリプト

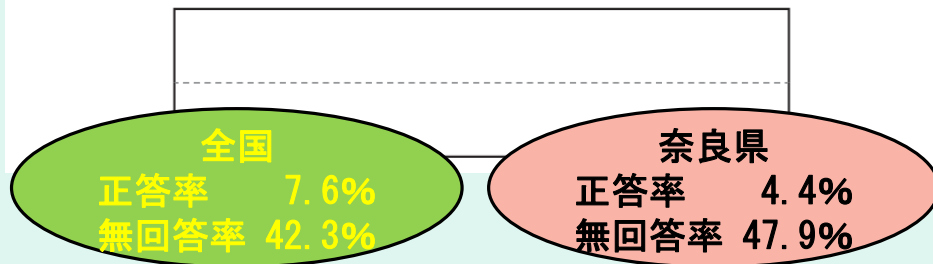
Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

(正答例)

- You can try the judo club.
- why don't you join the music club?
- You can trying judo. (動詞の活用形に誤りがある)
- Why don't join the music club? (主語が欠落している)
- Let's play basketball. (つづりに誤りがある)
- The art club. (語や句で解答している)

学習指導に当たって

- 「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、ただ聞いて理解するだけの活動にしないことが大切。
- 場面などの設定を工夫しながら、話し手がどのような人で、何を求めているか、この場面においてどのような応答がふさわしいのか考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要。



(2) 教科に関する調査の内容

平成31年度全国学力・学習状況
調査問題【中学校 英語（話すこと）】より

③ まとまりのある内容を話す 出題の趣旨

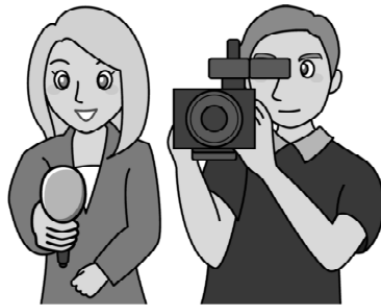
与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

あなたの学校で、海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」というテーマで番組を収録しています。画面にある話してほしい内容の①、②について、英語で話してください。1分間、内容を考えたあと、30秒で話します。それでは、内容を考えましょう。
それでは、30秒で話してください。

話してほしい内容

(①、②のどちらも話してください)

- ①あなたの将来の夢、または、将来やってみたいこと
- ②その実現のために頑張っていること、やるべきこと



学習指導要領における領域・内容

言語活動 イ 話すこと

(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチを
すること。

(正答例)

- I want to be a farmer and grow delicious vegetables. My grandfather is a farmer, so I will help him and learn many things from him.
- I want to be a farmer and growing delicious vegetable. To be _ good farmer, I should study science harder.

全国
正答率
45.8%

奈良県正答率
(参考値)
43.8%

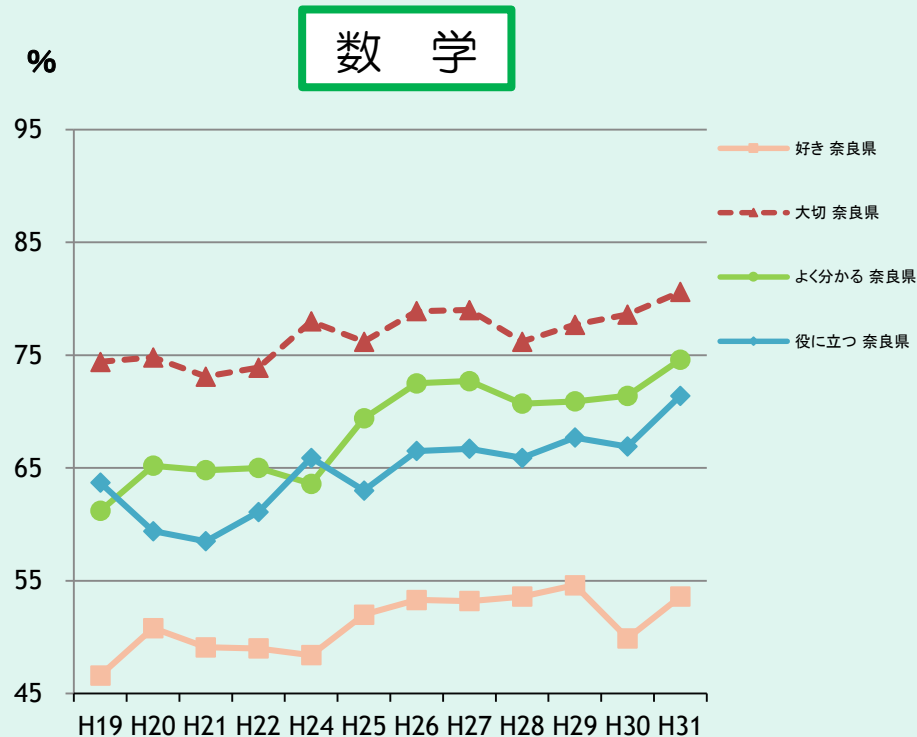
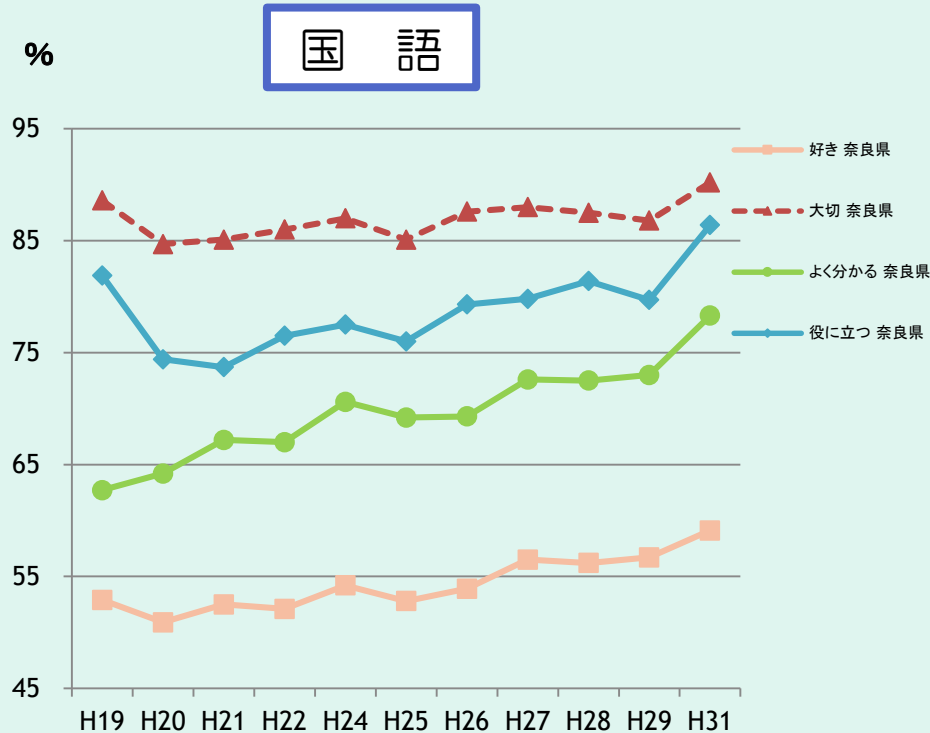
学習指導に当たって

- コミュニケーションの目的や場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、まとまりのある内容を話すなど思考力、判断力、表現力等を育てる言語活動を意図的に行うことが大切。
- 全体の文章構成を考えたり、一度発表した内容を構成面から振り返らせたりすることも大切。

(3) 質問紙に関する調査結果

ア 学習意欲に関する状況(中学校)

学習意欲に関する各質問項目に 肯定的な回答をした生徒の割合の推移



※ 平成30年度は、算数・数学の学習意欲のみ。

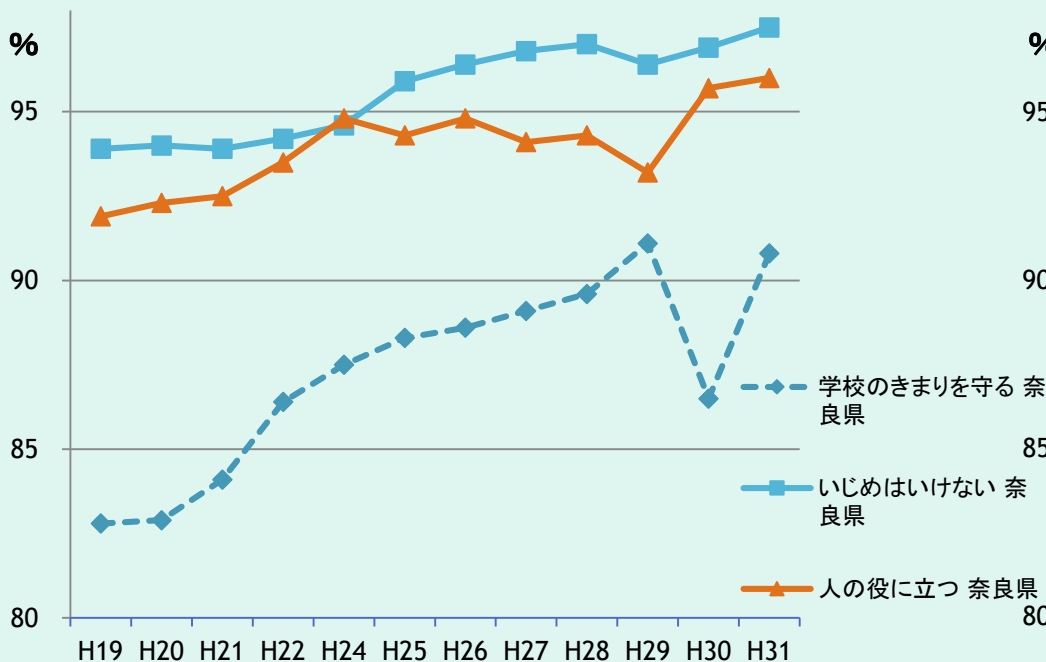
奈良県の生徒の学習意欲は、わずかずつ上昇している。
また、全ての質問項目で、前回より肯定的な回答の割合が上昇している。

(3) 質問紙に関する調査結果

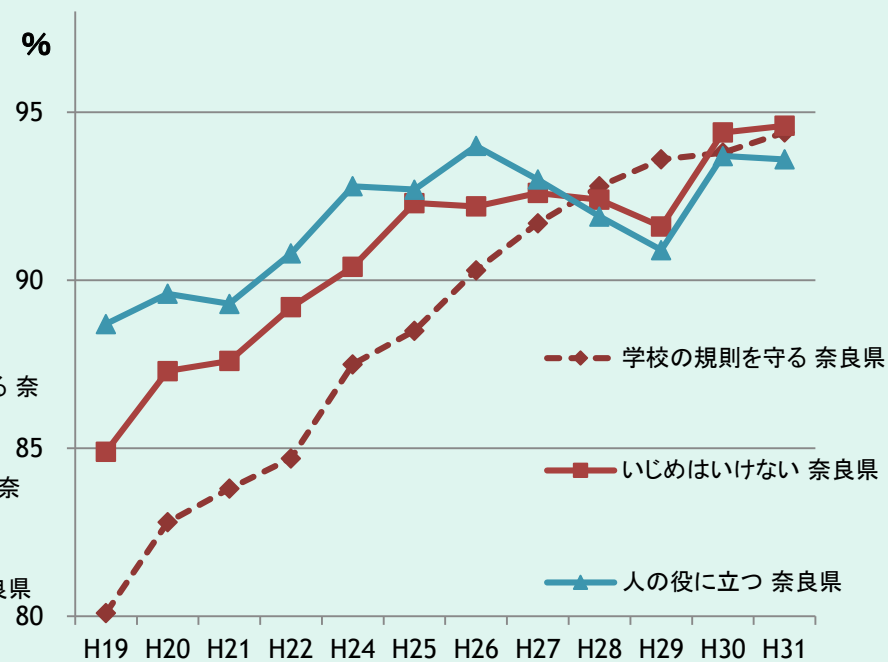
イ 規範意識に関する状況

規範意識に関する各質問項目に 肯定的な回答をした児童生徒の割合の推移

小学校



中学校



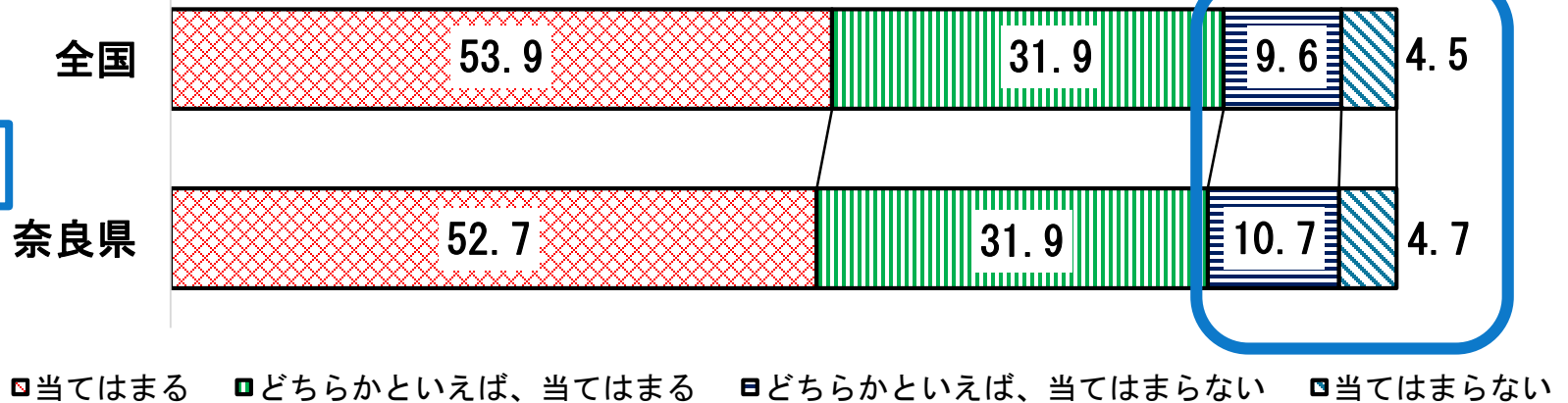
奈良県の児童生徒は、規範意識に関する質問について、いずれも9割以上が肯定的に回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

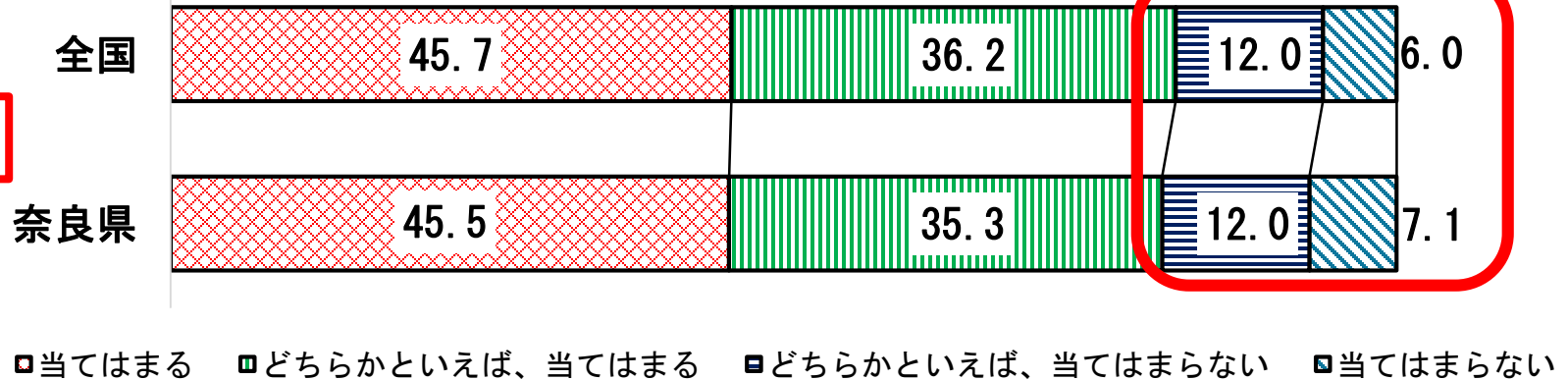
ウ 学習意欲と「学校が楽しい」

奈良県の結果と全国平均との比較

小学校



中学校

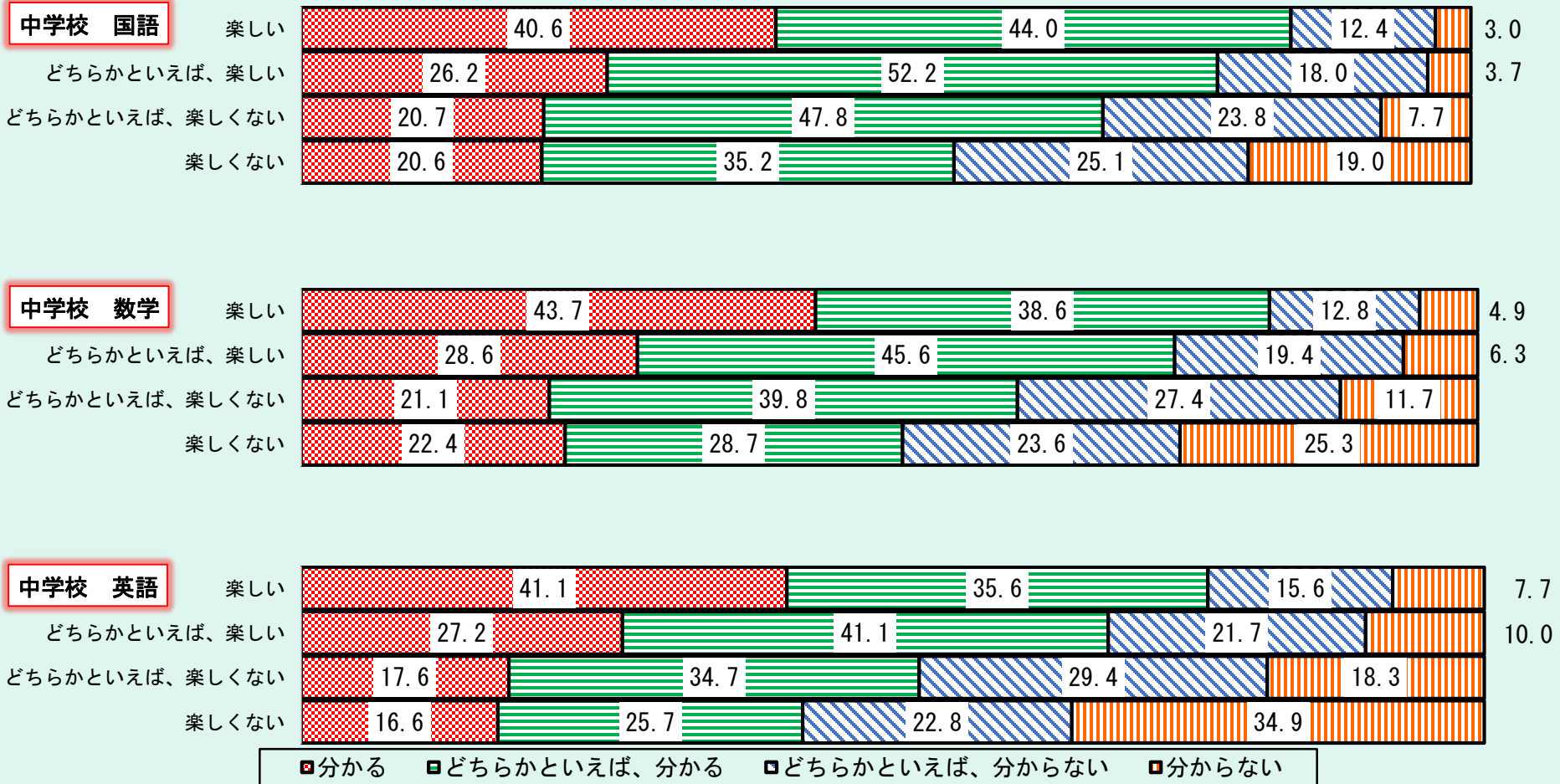


「学校が楽しい」と回答している児童生徒の割合は、全国平均に比べてわずかに低い状況である。

(3) 質問紙に関する調査結果

ウ 学習意欲と「学校が楽しい」

【学校が楽しい】と【教科の勉強が分かる】のクロス集計結果



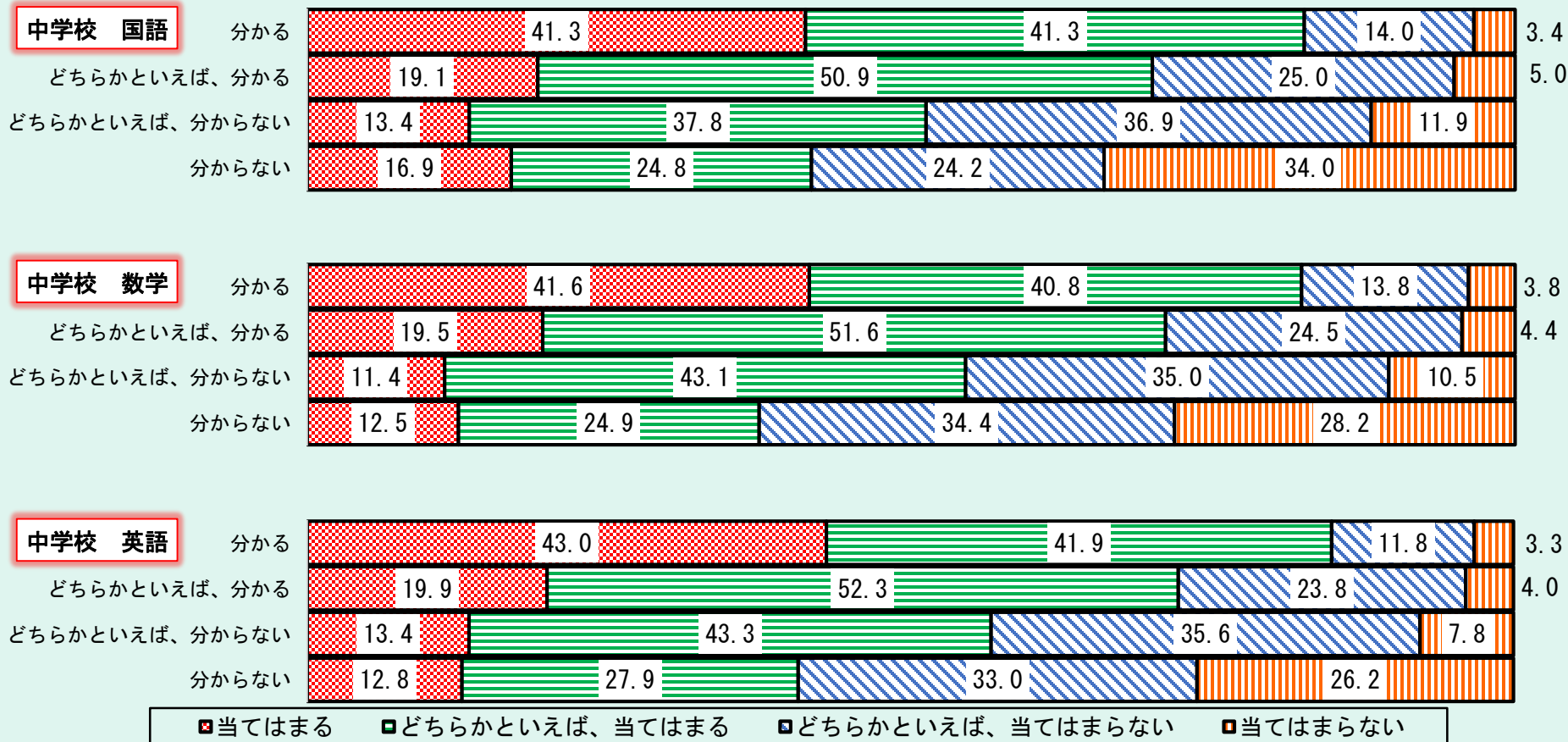
「学校が楽しい」と回答している生徒ほど「教科の勉強が分かる」と回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

ウ「教科の勉強が分かる」と主体的な学び

【教科の勉強が分かる】と【主体的な学び】のクロス集計結果

1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか。



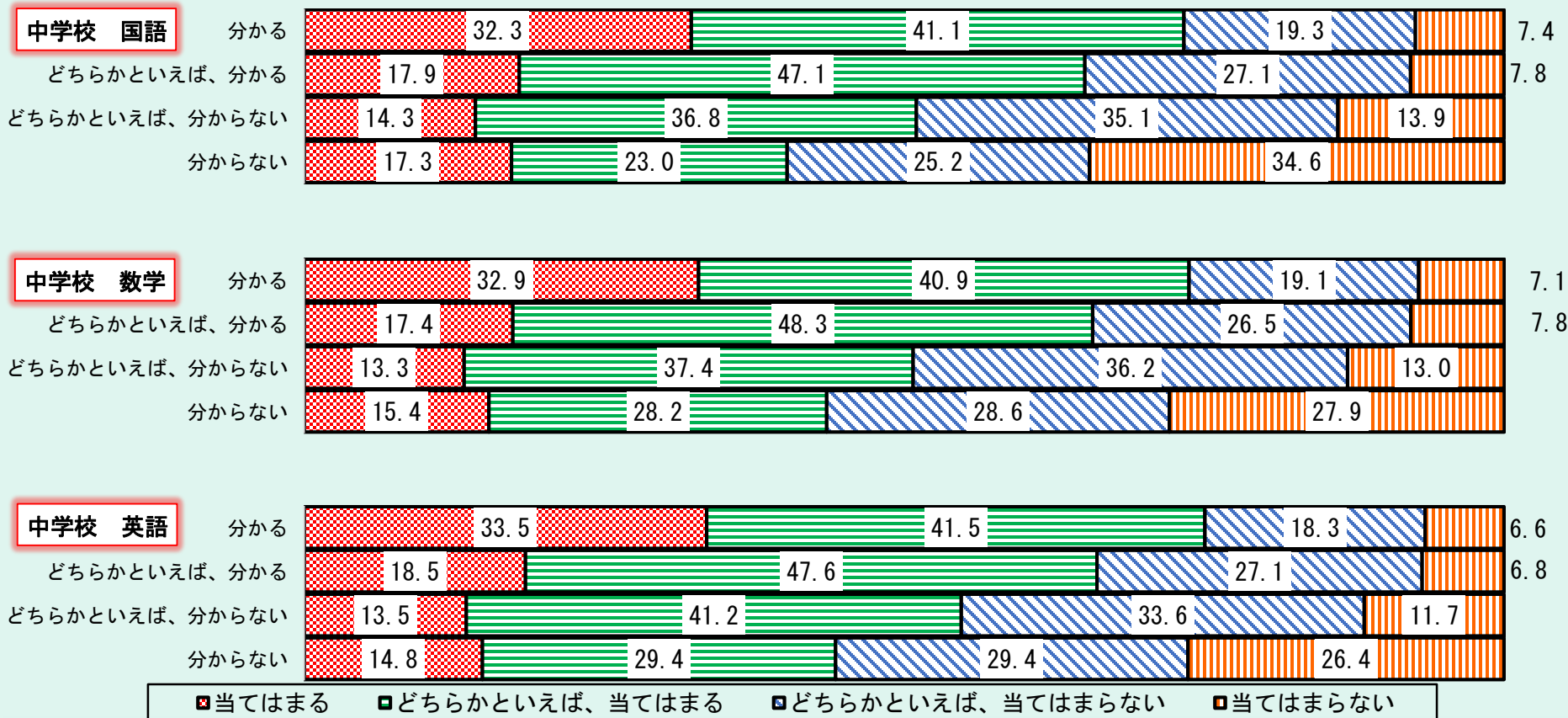
「教科の勉強が分かる」と回答している生徒ほど、「1、2年生までに受けた授業では、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」について肯定的に回答している。

(3) 質問紙に関する調査結果

ウ「教科の勉強が好き」と対話的な学び

【教科の勉強が分かる】と【対話的な学び】のクロス集計結果

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



「教科の勉強が分かる」と回答している生徒ほど、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」について肯定的に回答している。

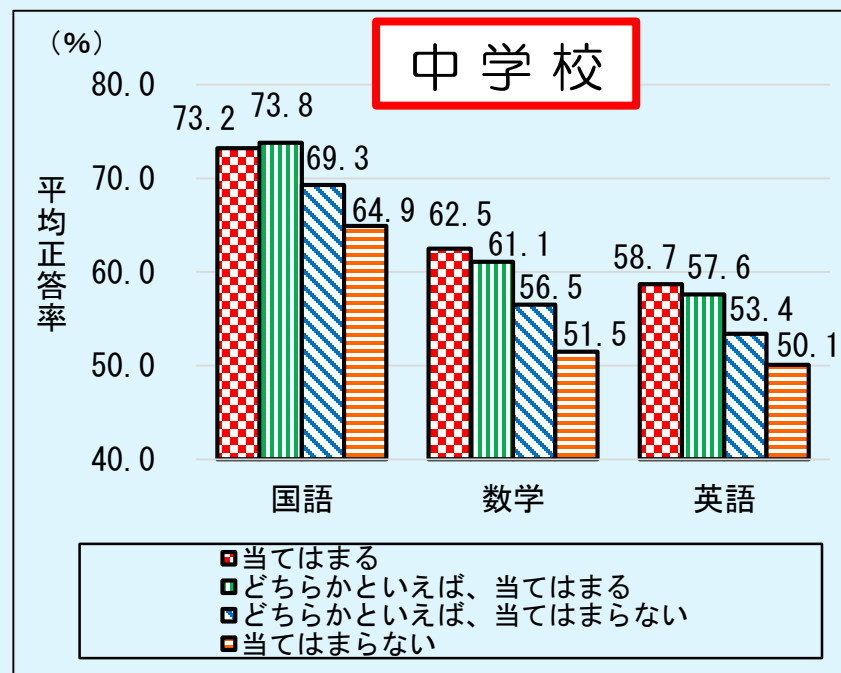
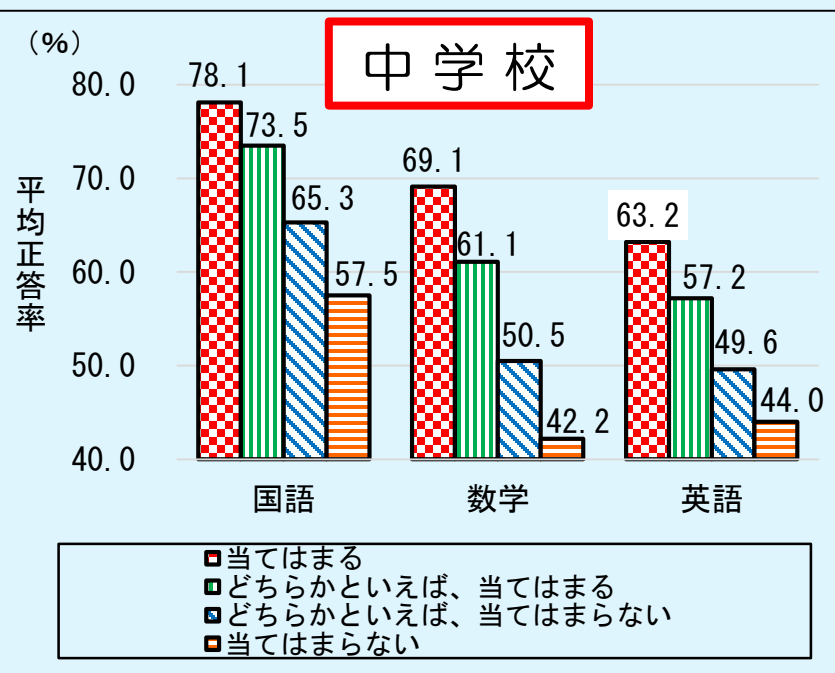
(3) 質問紙に関する調査結果

エ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

学校での学習状況と平均正答率のクロス集計結果

1、2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいたと思いますか。

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



「主体的に学習している」「対話的な学習活動をしている」と回答した生徒ほど、各教科の平均正答率が高い。
→主体的・対話的な学習活動が有効である。

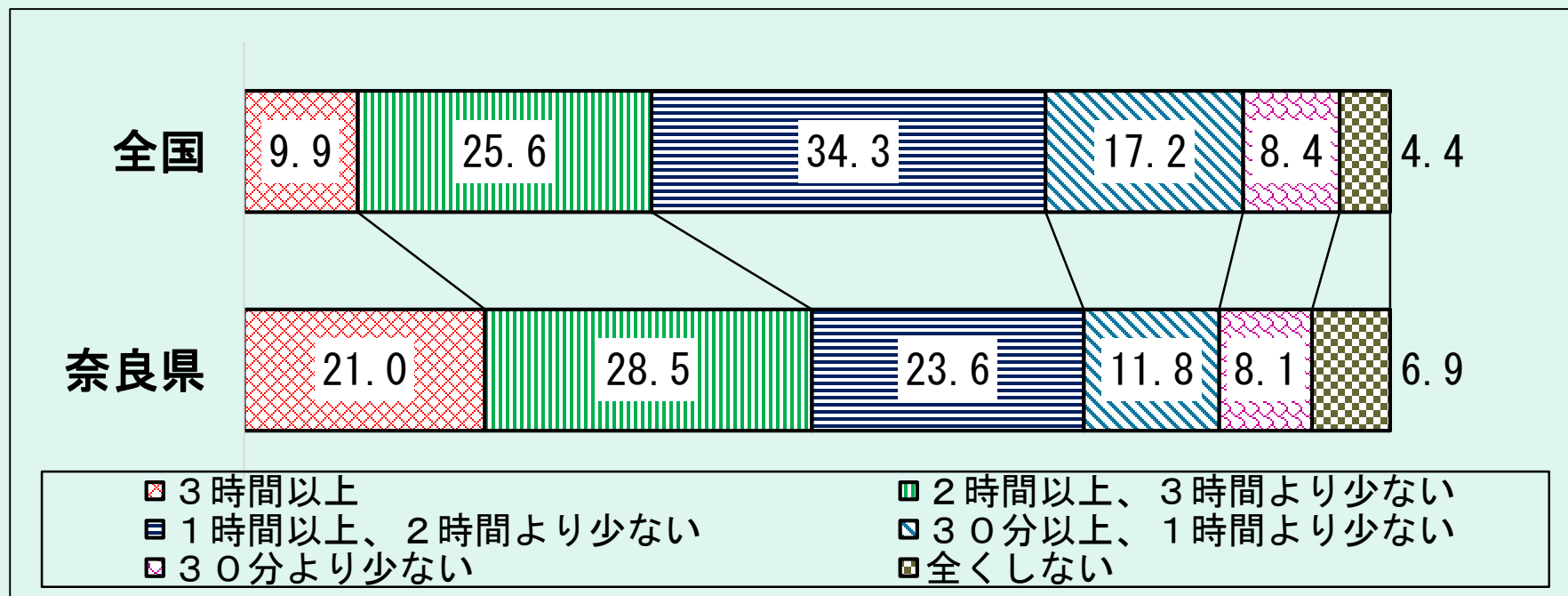
(3) 質問紙に関する調査結果

オ 学習習慣等に関する状況

授業時間以外での学習時間に関する質問項目における全国平均との比較

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

中学校



奈良県の生徒の学習時間について、全国平均との比較では、「3時間以上」と「全くしない」と回答した生徒の割合が大きい。

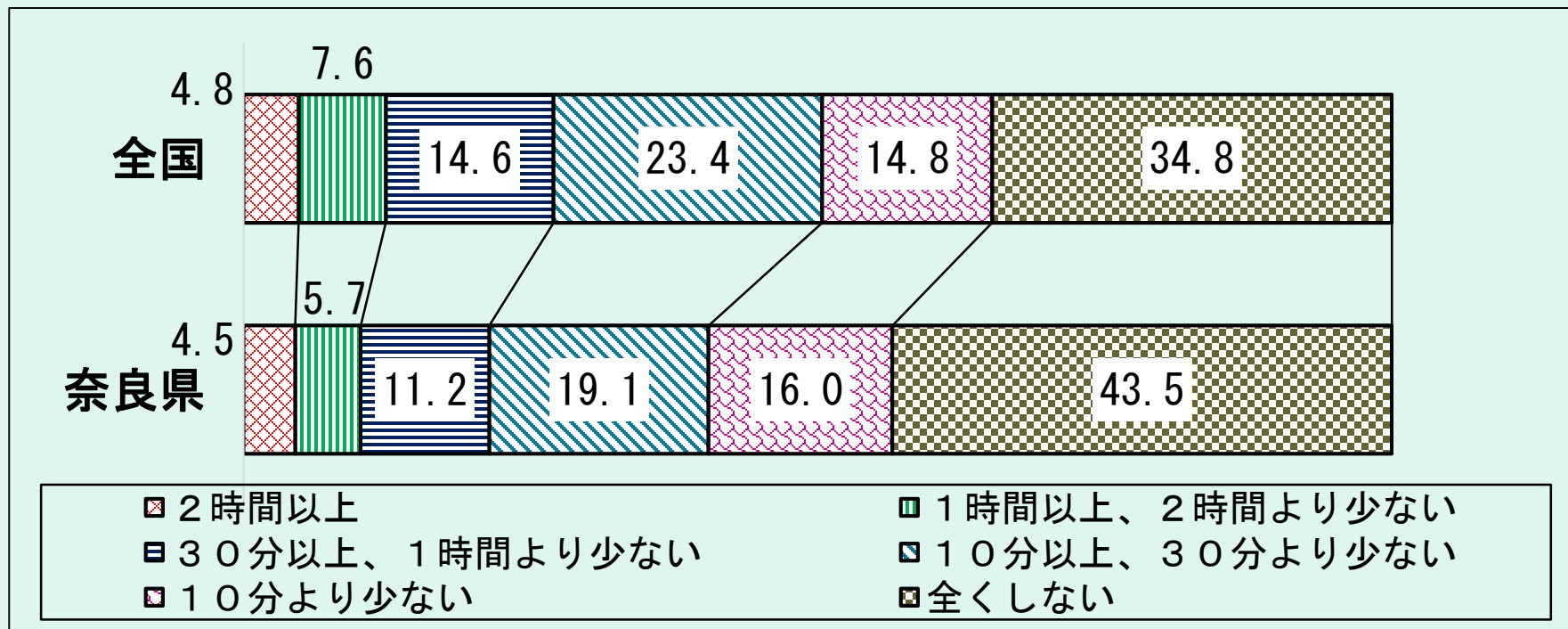
(3) 質問紙に関する調査結果

オ 学習習慣等に関する状況

授業時間以外での読書時間に関する質問項目における全国平均との比較

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

中学校



読書時間について、全国平均との比較では、「全くしない」と回答した生徒の割合が大きい。

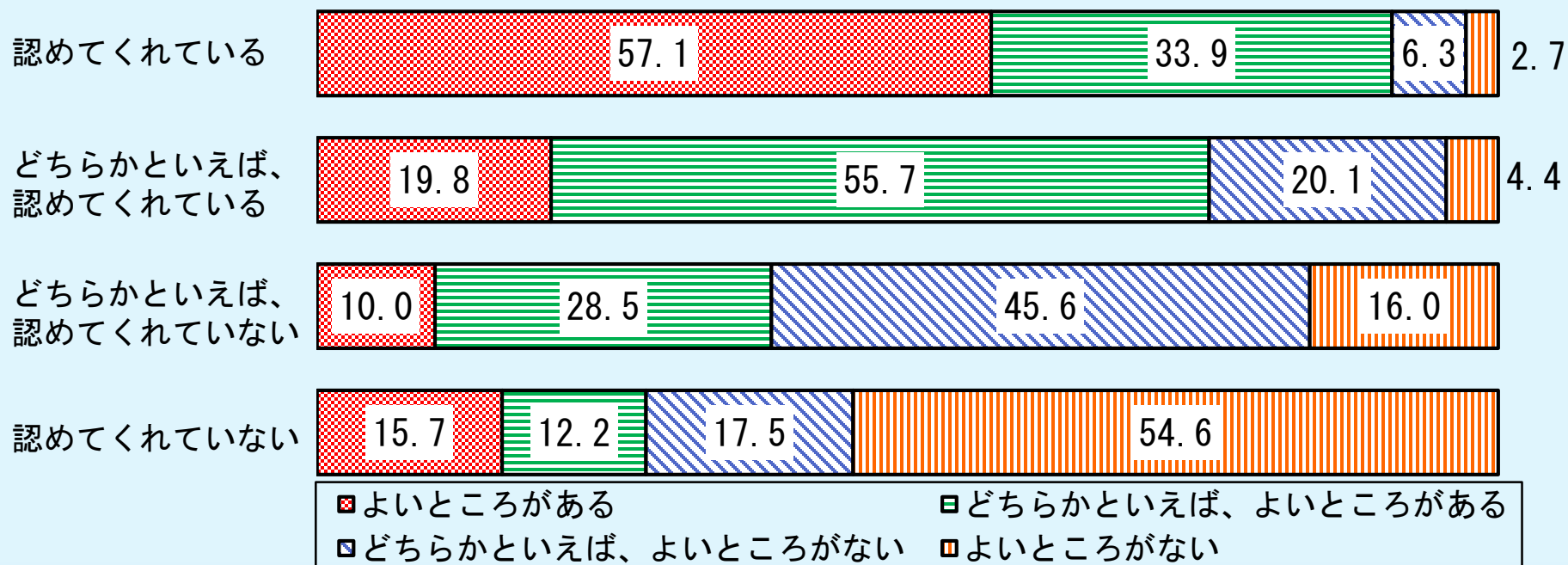
(3) 質問紙に関する調査結果

カ 自己肯定感

自己肯定感に関するクロス集計結果

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と「自分にはよいところがあると思う」

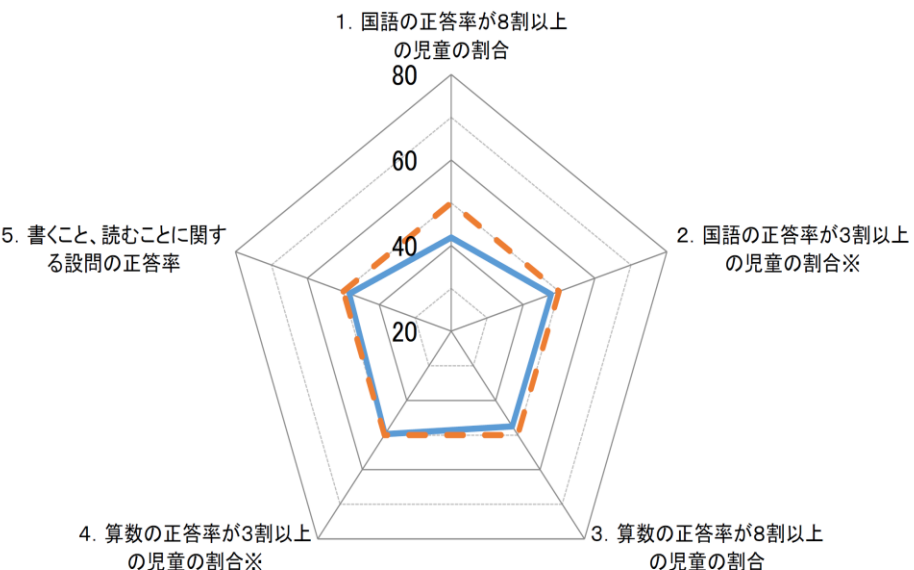
中学校



「先生はよいところを認めてくれている」に肯定的に回答した生徒ほど自己肯定感が高い。

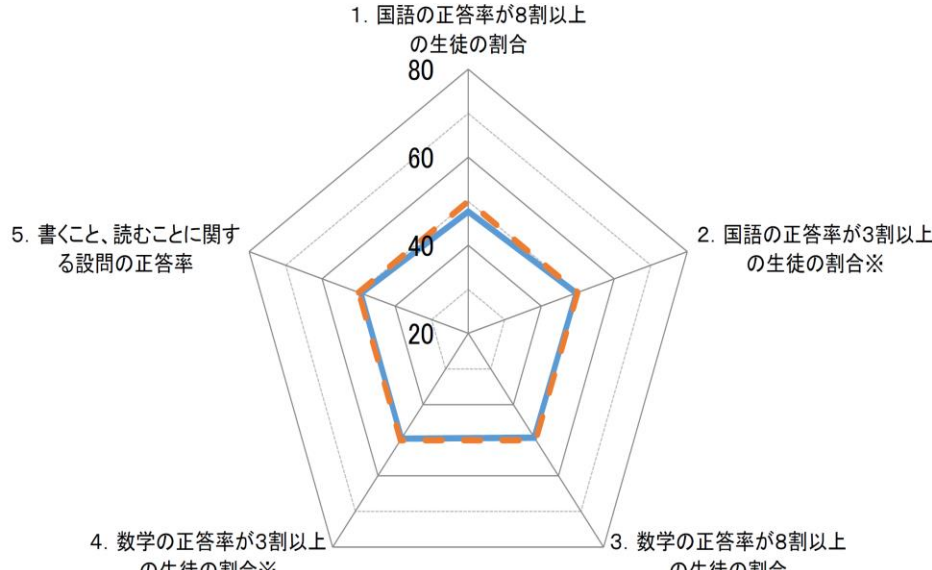
3. レーダーチャートについて

国語の正答率が8割以上、3割以下 算数・数学の正答率が8割以上、3割以下 書くこと、読むことに関する設問の正答率



※ 2、4について、グラフでは正答率が3割以上の児童の割合を示しています。

— 全国平均を50としたときの貴教育委員会の割合 — 全国平均 (50)



※ 2、4について、グラフでは正答率が3割以上の児童の割合を示しています。

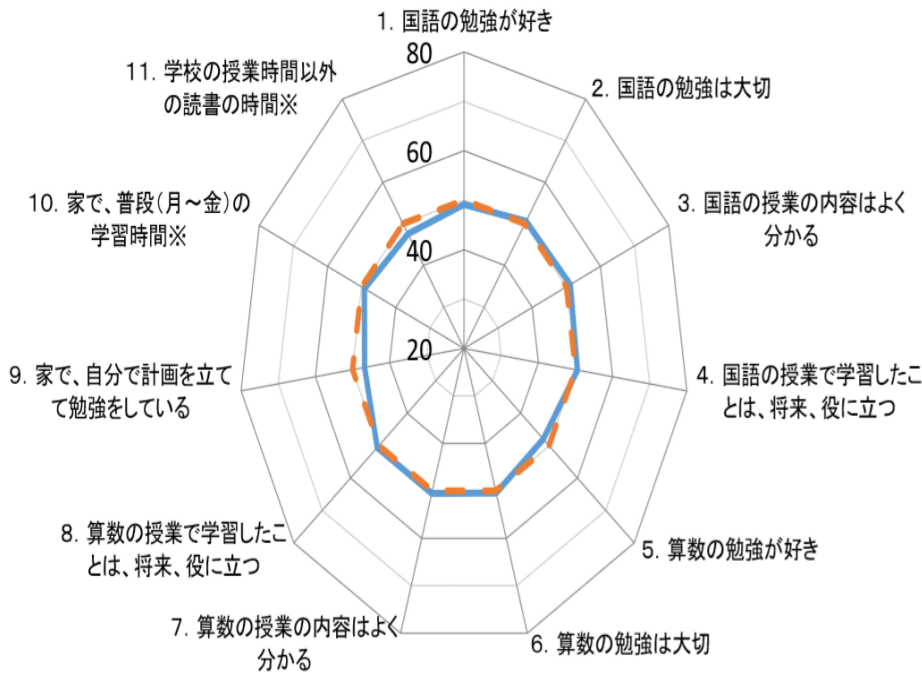
— 全国平均を50としたときの貴教育委員会の割合 — 全国平均 (50)

小学校

中学校

各学校の状況を把握した上で、今後の指導改善に役立てていただきたい。

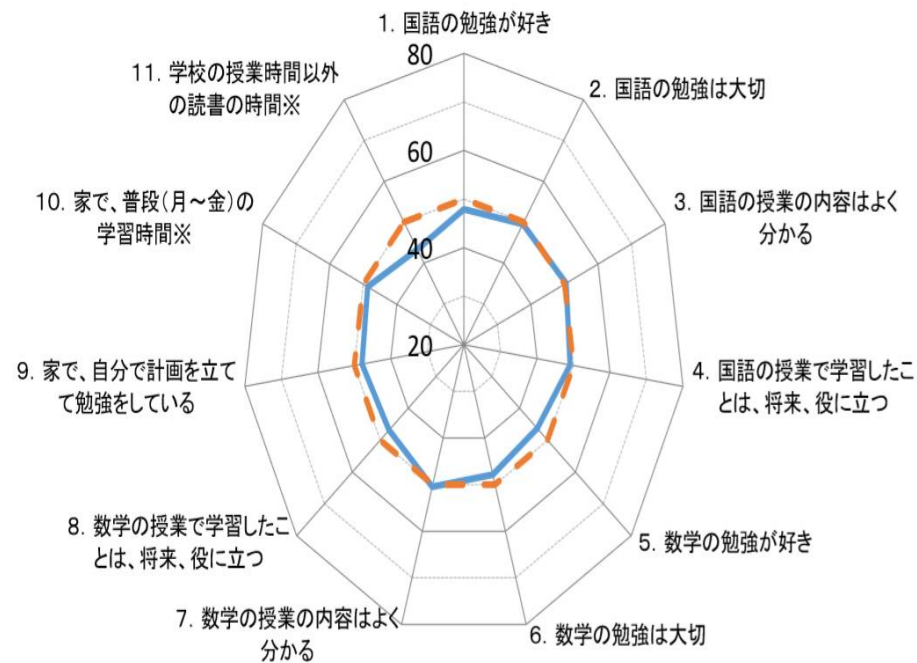
1. 国語の勉強が好き ～ 11. 読書をする時間



※10、11について、「全くしない」と回答した児童を除く児童の割合を示しています。

— 全国平均を50としたときの貴教育委員会の割合 - - 全国平均 (50)

小学校

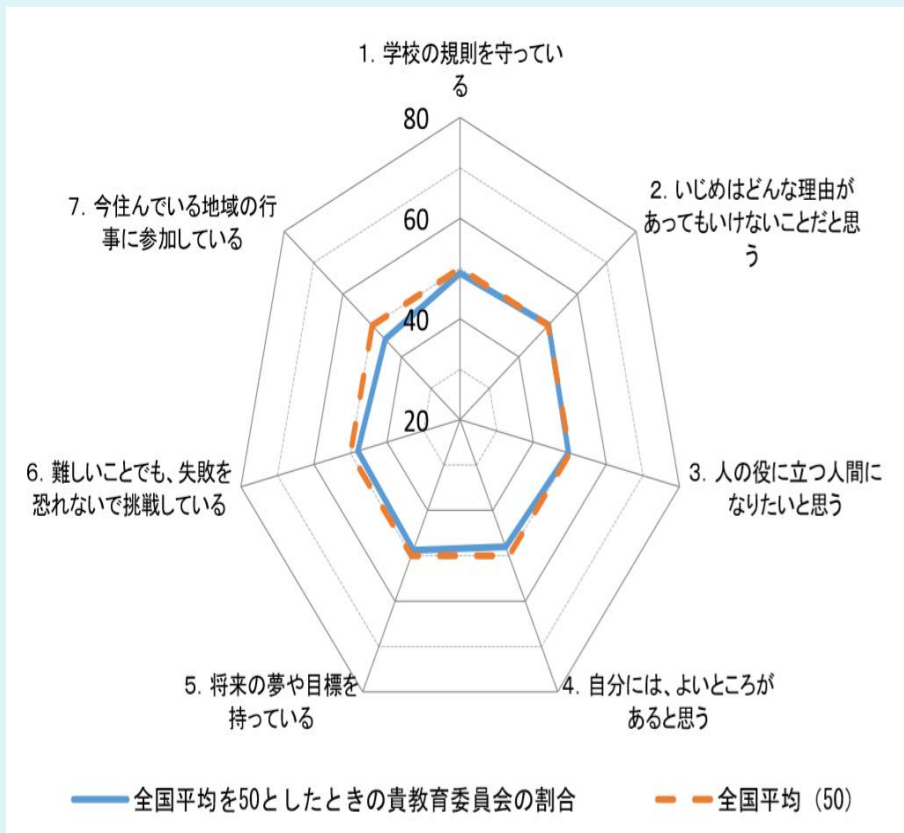
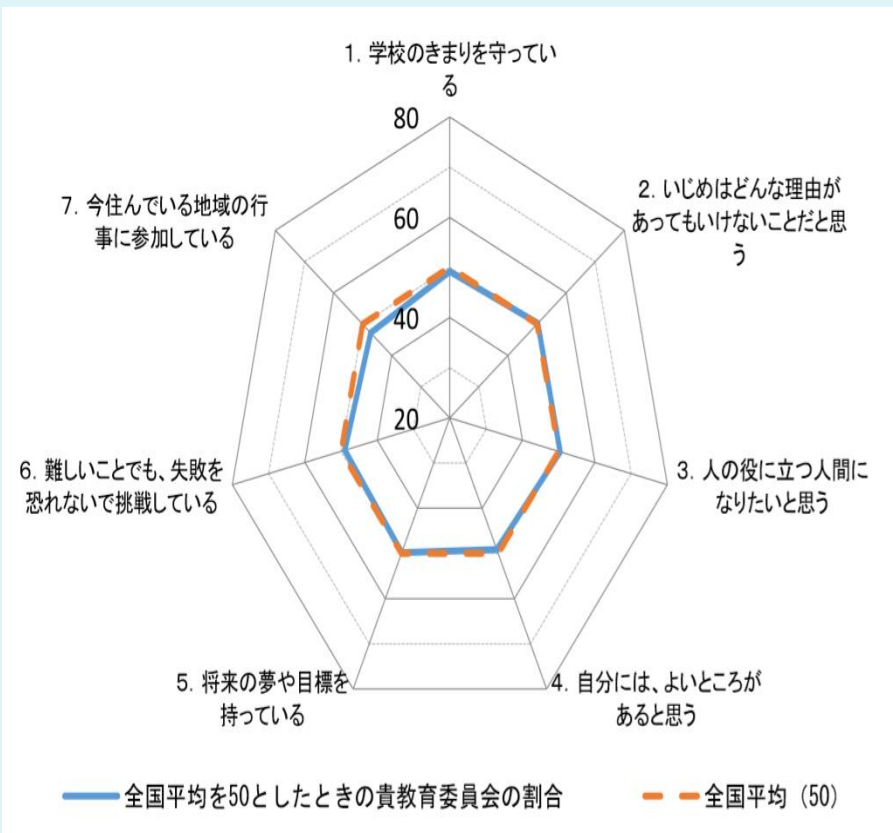


※10、11について、「全くしない」と回答した生徒を除く生徒の割合を示しています。

— 全国平均を50としたときの貴教育委員会の割合 - - 全国平均 (50)

中学校

1. 学校のきまり(規則)を守る ~ 7. 地域の行事に参加している



小学校

中学校

4. 先生方をお願いしたいこと

- 1 「学校に行くのは楽しいですか」等、学校適応に関する質問紙調査の結果を生徒理解につなげ、必要な手立てを講じること。
- 2 無解答から見られる個別の実態や全体の状況を把握・分析し、必要な手立てを講じること。
- 3 学力調査の結果を活用して、授業改善や指導改善に努めること。
- 4 普段の学習指導を通じて子どもたちに身に付けさせたい資質・能力の育成が図ることができたかどうかを、学力調査問題の活用等を通じて見取ること。

報告書の活用

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

報告書

児童生徒一人一人の学力・学習状況に
応じた学習指導の改善・充実に向けて

中学校 数学

令和元年7月
文部科学省 国立教育政策研究所

設問(3)

趣旨

問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができるかどうかをみる。

出題の趣旨

学習指導要領の学年・領域・内容

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 D 資料の活用

- (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。
イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答	
8	(3)			
	1	ア	と解答しているもの。(平均値)	14.3
	2	イ	と解答しているもの。(中央値)	51.1
	3	ウ	と解答しているもの。(最頻値)	20.0
	4	エ	と解答しているもの。(最大値)	7.0
	5	オ		

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた

小学校

授業アイデア例



「授業アイデア例」は、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして、国立教育政策研究所において作成したものです。
本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

報告書や授業アイデア例を活用し、授業改善のヒントに！

「報告書」は、<http://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>

「授業アイデア例」は、<http://www.nier.go.jp/jugyourei/index.htm> からダウンロードできます。